



福顔酒造  
(三条市)

小林 章さん

1950年三条市生まれ。1989年に福顔酒造五代目社長に就任。ル・レクチエのリキュールやウイスキー樽貯蔵の日本酒など新たな商品にも挑戦している。

越後長野温泉 嵐溪荘  
(三条市)

大竹啓五さん

1971年三条市生まれ。2008年に嵐溪荘四代目当主となる。14年に第99号新潟清酒金の達人に認定される。



しみじみ食べてしみじみ飲める組み合わせ  
大竹(以下「大」)うちの宿で福顔さんのお酒を置かせてもらうようになったのはいつころからですかね。  
小林(以下「小」)40年以上前になりますね。  
大 熱燗にするなら辛口の「福顔」。冷やでもおいしいのですが、熱燗にすると甘みが出てきてちょうどいい。お客様から「熱燗でうまいね」と昔から言われているんですよ。  
小 うれしいですね。  
大 「地酒の宿」がスタートするとき、杜氏が「料理が主で酒は従。そういう酒を造っています」とおっしゃった。うちも山菜や川魚というどちらかという土地味な料理なので、地味な組み合わせでしみじみと味わい、しみじみと飲んでもらう

と、メニューを決めたのを覚えています。  
小 現在は辛口の「福顔」と吟醸の「五十嵐川」に、山菜料理とあゆせんべい、鯉の洗いの組み合わせですね。  
大 今では鯉の洗いは珍しい。県内でも最近では養鯉場も少なくなっていて、そのうちの1軒が地元・下田にあります。歯ごたえ、噛むとほんのり感じる甘み、独特のほど越しが楽しめます。ちよつと甘めの酢辛子味噌をつけて、「五十嵐川」でさらっと流すと最高です！  
小 私は何度もいただいています。本場に合いますね。下田ではうちの酒米「越淡麗」と「五百万石」も栽培しています。山からの清冽な水が豊富で水はけもいい。生



越後長野温泉 嵐溪荘

(えちごなのおんせん らんけいそう)  
大正時代の終わりに初代大竹保吉が薬効豊かな温泉を掘り、湯治場を開いたのが始まり。日本屈指の強食塩冷鉱泉の越後長野温泉の一軒宿。本館「緑風館」は2012年に国有有形登録文化財に。  
三条市長野1450 TEL.0256-47-2211  
交通 燕三条駅から車で約40分  
(燕三条駅、東三条駅への送迎あり、1日1回、要予約)  
http://www.rankei.com  
「にいがた地酒の宿」プランはP13



新潟清酒《金の達人》が「今、会いたい！」  
この蔵、この人

「にいがた地酒の宿」で三条市・越後長野温泉の一軒宿「嵐溪荘」とコラボするのは、三条市唯一の酒蔵「福顔酒造」。新潟清酒「金の達人」である嵐溪荘当主の大竹啓五さんが福顔酒造の小林章社長を訪ねた。

りに取り組んでいます。品質では他県には負けませんが、蔵との個性をより打ち出す時代になってきているのは確かですね。  
大 新潟はバックボーンがしっかりしている。酒だけで飽きがないという点で、他県の酒とは違うような気がします。  
小 県外の方が三条に来ると、酒だけでなく、海のもの山のものもおいしいといえます。三条は水がいいから米も、果物もおいしい。三条野菜もあります。下田では豚にも力を入れている。ただ何かひとつといわれると難しい。新潟県全体がそうかもしれないですね。すべてのレベルが高いか、なかなかひとつに絞れず伝わらない。  
大 食とともに燕・三条では地場産のオー

プリンファクトリーを体験してほしいですね。玉川堂 諏訪田製作所、スノーピークなど、工場を開放しショップやカフェを併設するところも増えています。どれも本物の酒で、皆さん満足して帰っていきますね。  
小 2013年から始まった10月開催の「工場の祭典」も年々集客が増えていますね。うちは試飲と酒造りのビデオを流しましたが、南アフリカから来た方もいました。  
大 福顔さんの売店では常に試飲ができるんですか？  
小 夏は土・日休みですが、冬は土曜もやっていて試飲もできます。大竹さんは「金の達人」ですから利き酒も得意ですね。「金」すごいですね。

大 がんばりました。金は小論文と利き酒だけなので、銀が一番難しかったですね。勉強し始めると奥が深く、のめりこんでいきました。「にいがた酒の陣」がある3月の毎週土曜の夜、時間を決めてロビーで「主のふるまい」を始めたのもこの頃からです。初対面のお客様同士がわいわいと酒を飲み交わす。もちろん自分も楽しんでいます。  
小 酒は人をつなぎます。「酒の陣」が終わると三条にも春がやってきます。  
大 雪割草がきれいな時期ですね。  
小 うちにも「越乃雪割草」という酒があります。  
大 とれたての山菜を豊富にお出しすることもできます。コシアブラの天ぷら、山菜釜飯、山菜ごはんもおいしいですよ。山菜にはやっぱり地酒。  
小 今年の春も多くのの方に三条の食と酒を楽しんでほしいですね。

酒、米、果物、野菜、肉。すべてのレベルが高い



福顔酒造 (ふくがおしめぞう)

代表銘柄「福顔」「五十嵐川」  
創業 明治30年(1897)  
「飲んだ人が福の顔になる旨い酒を造る」という志のもとに創業。「福顔」のほか「五十嵐川」「越後平野」などの銘柄が地元三条の地酒として愛されている。  
三条市林町1-5-38 TEL.0256-33-0123  
交通 東三条駅から徒歩約15分  
酒蔵見学 不可(販売のみ可) http://www.fukugao.jp

